
1. 2008年3月期中間決算について

2. 2008年3月期業績見通し

3. 2008年3月期重点施策の進捗

2008年3月期の重点施策の進捗 – 上期を振り返って

事業拡大 – 顧客への『浸透』

(1)-1 金融系大型プロジェクト
完遂と発展

(1)-2 システムコンサルティング
機能の強化

(1)-3 金融分野以外での
顧客・事業開拓

- ✓ 複数の大型プロジェクト、順調に進捗
- ✓ 既存のお客様からの需要拡大
- ✓ 共同利用型システムの次世代バージョン開発本格化
- ✓ 「業務×IT型」の案件の増加
- ✓ 「コンサル→システム」から「コンサル×システム」へ
- ✓ 新しい事業会社設立(ユビークリンク、社会情報システム)
- ✓ アジア(中国)システム事業元年、始動

足元固め⇒事業拡大へ

(2) さらに生産革新

- ✓ 根付いてきた生産性向上のための施策
- ✓ プロジェクトマネジメント力の維持と向上

内なる先行投資

(3)-1 人材(確保と育成)

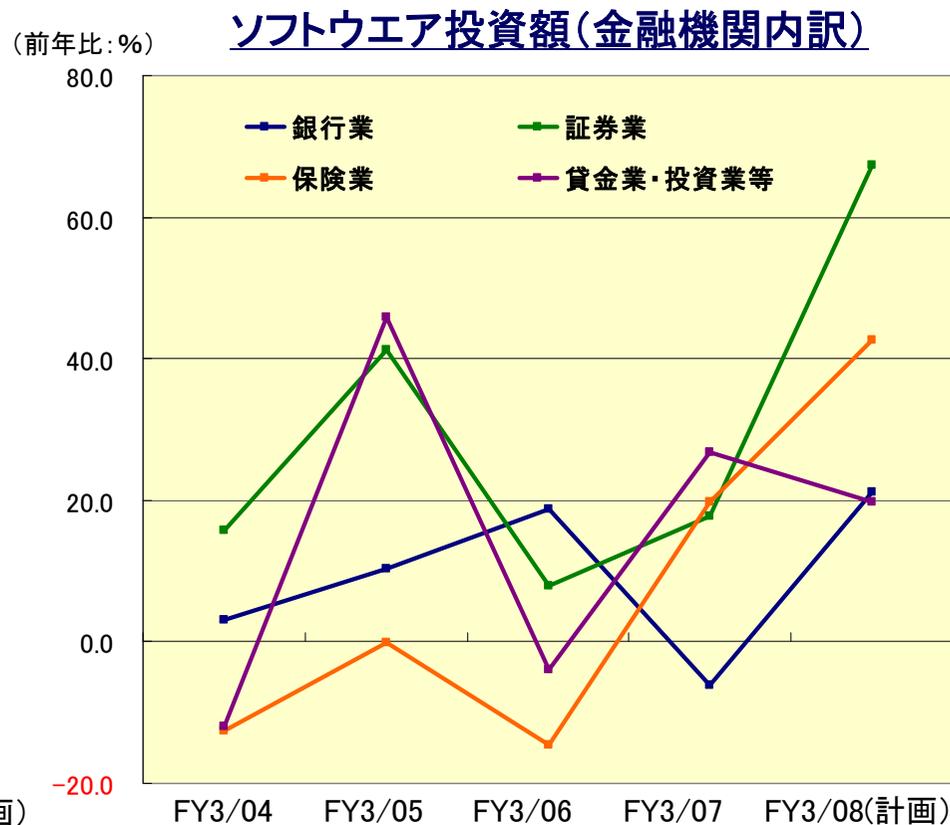
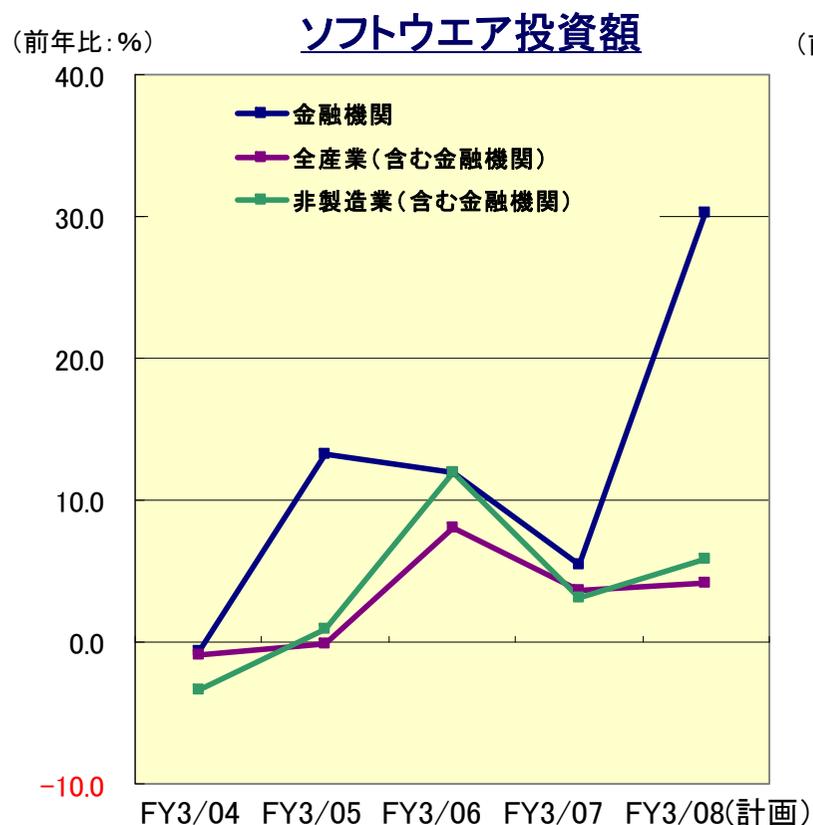
(3)-2 社内情報システム
再構築

- ✓ 人材育成委員会の設置、研修体系の拡充
- ✓ 中国オフショア開発のステップアップ
- ✓ プロフェッショナルのための社内システムを設計中

NRIを取り巻く経営環境

➤ マーケットは追い風が続く、証券会社のIT投資意欲も大

- 金融機関のソフトウェア投資額は、今期好調であると推計されている
- NRIの得意とする、「証券」「保険」分野での需要が引き続き・大



(出所) 日銀短観 最新は2007年10月1日発表/企業に対するアンケート調査に基づく

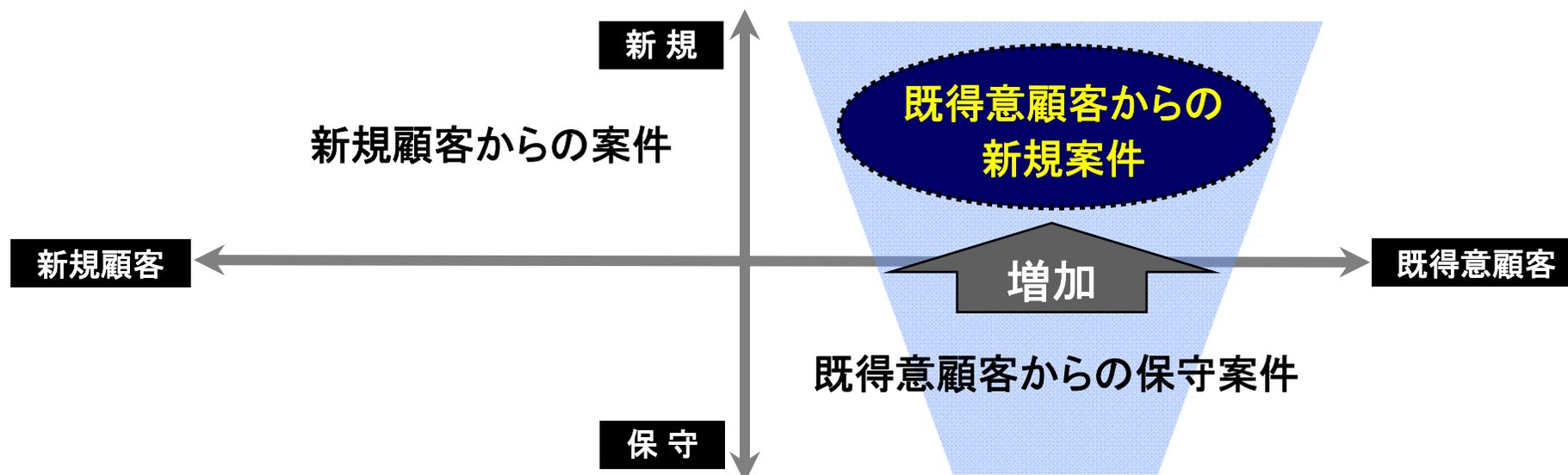
この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。
Copyright (C) 2007 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

(1)-1 金融系大型プロジェクトの完遂と発展

➤ 複数の新規大型プロジェクト、順調に進捗

- SIでの新規案件：総合証券複数社、ネット系金融・・・etc.
⇒ いずれの大型案件も、スケジュール通りに進捗中
- **THE STAR**：STAR-IV 東海東京証券 (STAR-IV最大級規模)
⇒ 2008年1月、リリース予定
- **TRADESTAR**
⇒ 2007年7月末、ファースト・ユーザー稼働

➤ 既存のお客様からの需要拡大



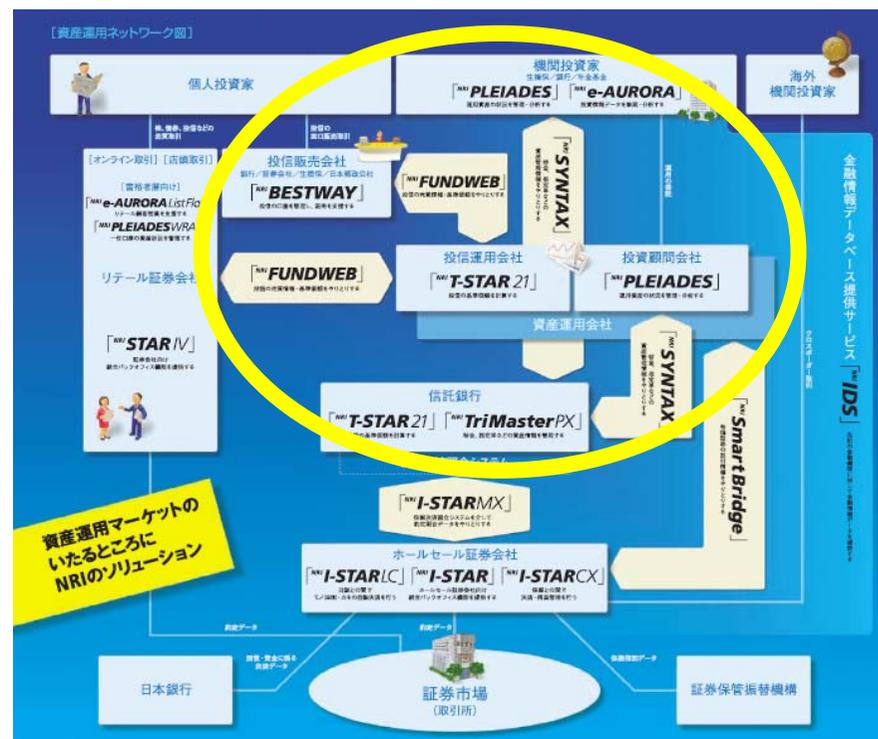
(1)-1 金融系大型プロジェクトの完遂と発展

共同利用型システムサービスの次世代バージョン開発本格化

- 次世代BESTWAY : フロント業務の24時間運用、土日営業にも対応するなど、個々のユーザーの事情に合わせた柔軟性を備える
- 次世代T-STAR : さらなるシェア拡大に向けて、投資顧問業務サポート機能を拡張



2007年10月5日 ニッキン



2006年9月29日 日経金融新聞広告より抜粋

(1)-3 金融以外の分野での顧客・事業開拓 –新しい事業会社の設立

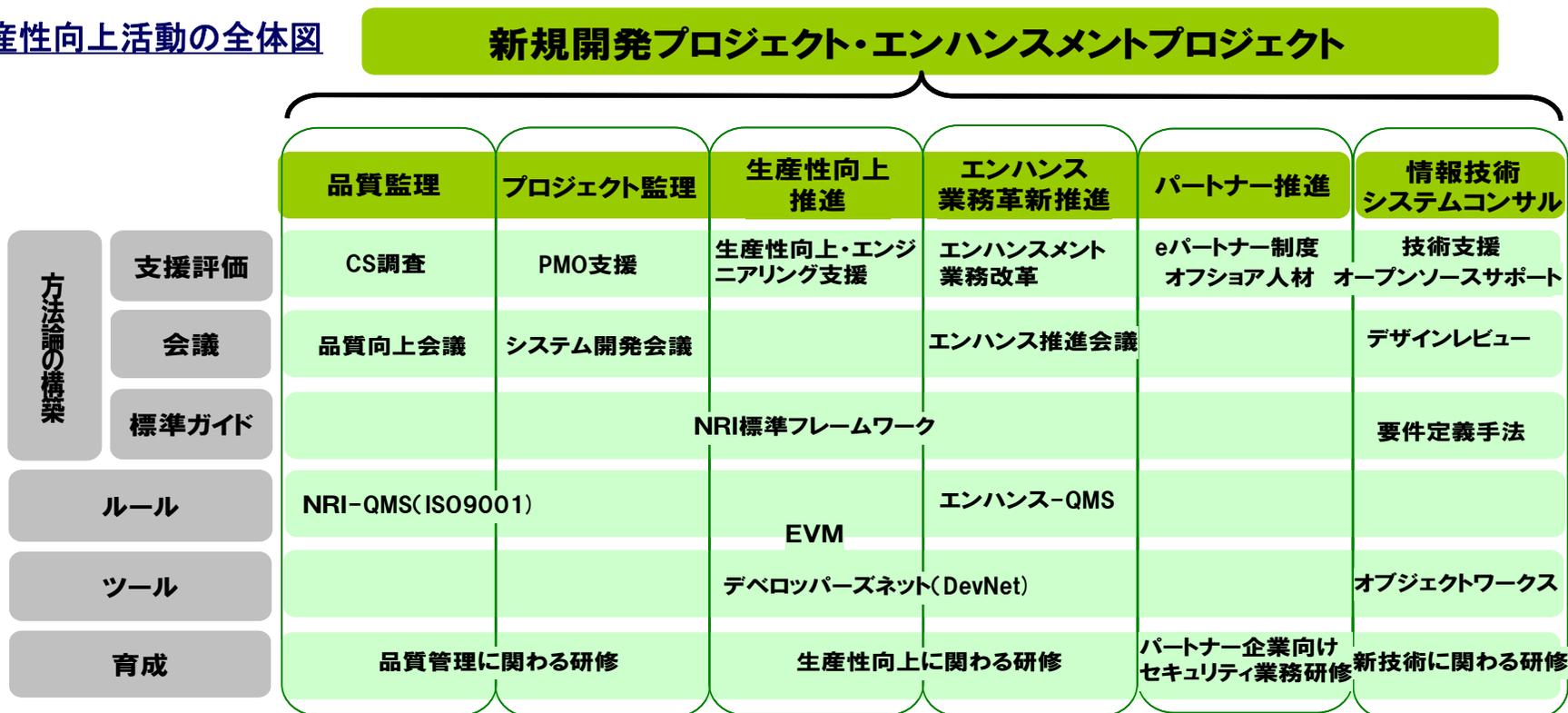
正式商号	株式会社ユビークリンク 	エヌ・アール・アイ・社会情報システム株式会社
設立	2007年8月1日	2007年10月1日
資本金	4億9,500万円	1億円
株主	NRI100%	NRI100%
事業	 <ul style="list-style-type: none"> ・地図・ナビゲーションサービス ・プローブ交通情報・カーナビコンテンツ ・ナビゲーション機能を用いたビジネスソリューションの構築・販売 ・エリアマーケティング など 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター向けパッケージシステム「エイジレス80」 (市場でのシェア7割) ・全国シルバー人材センター事業協会向けイントラネット構築 ・都道府県連合向け連合システムの提供 ・高齢化社会に向けた新しいソリューションの開発

(2) さらなる生産革新

➤ 根付いてきた生産性向上策 – ①現場力と継続する力

- 最初に「方法論の構築」、次に「ツール」作成、最後に「育成」
- 機能生産性を向上させると、コスト生産性が向上 – 最後は現場力と継続する力
⇒ 結果として、プロジェクトマネジメント力の向上

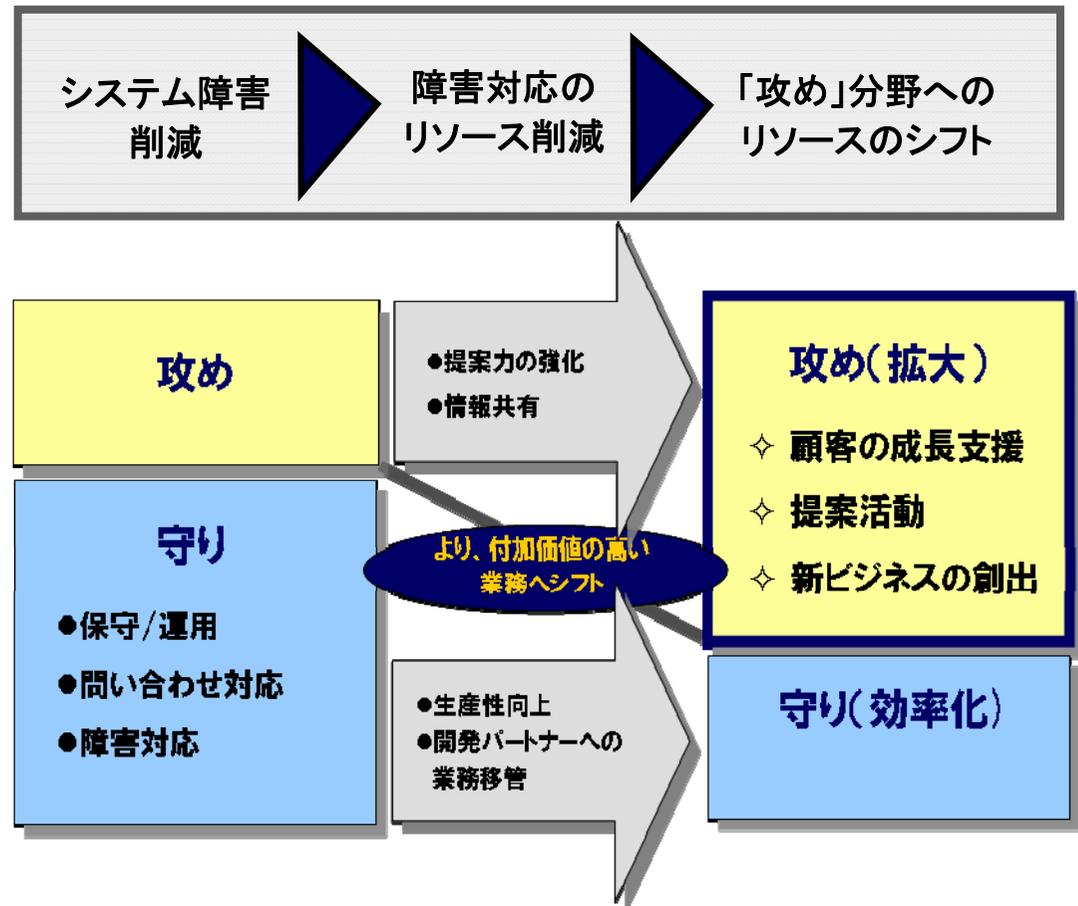
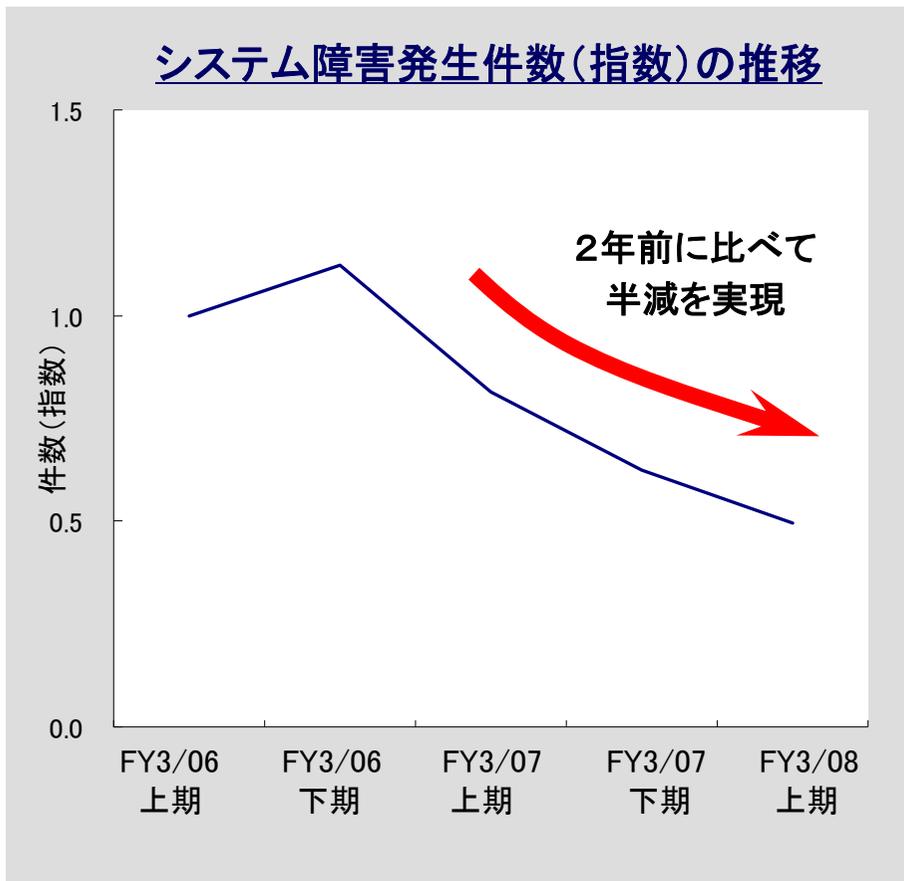
品質・生産性向上活動の全体図



(2) さらなる生産革新

➤ 根付いてきた生産性向上策 – ②システム障害の削減

- システム障害発生件数が減少した結果、リソース(人員など)の有効活用が可能に



(3)-1 人材(確保と育成)

➤ 2008/4入社は335名内定、中国オフショア開発は順調に拡大

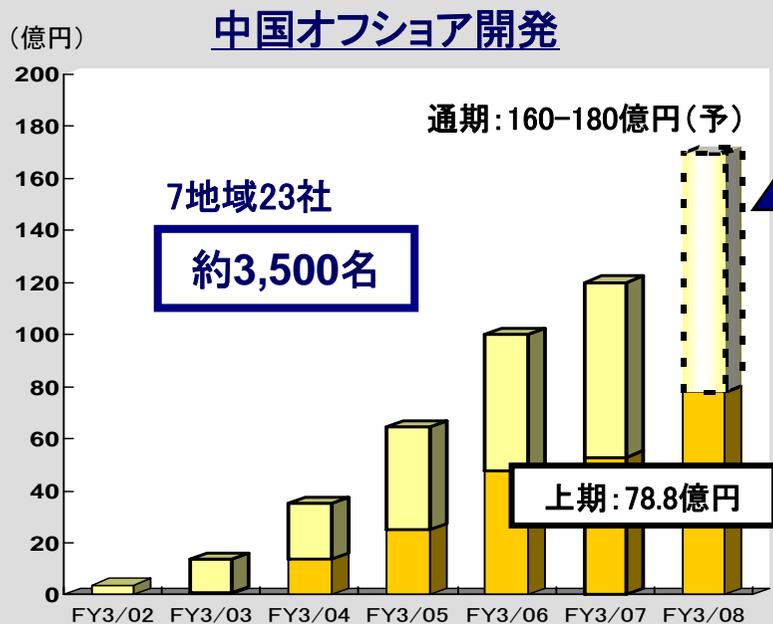
NRIグループ新卒採用状況

(名)

2003/4 入社	2004/4 入社	2005/4 入社	2006/4 入社	2007/4 入社	2008/4 入社内定
281	159	196	235	292	335

約5,500名

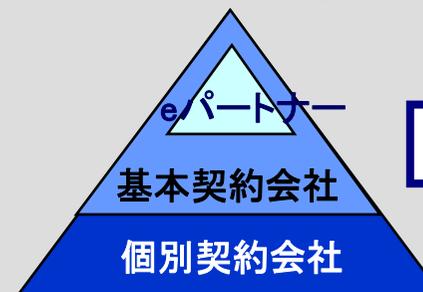
(うちIT技術者は、約4,000名)



3つのリソース
を効果的に活用

国内協力パートナー

- eパートナー制度の推進
(eパートナー企業11社、うち9社が国内)
- DevNetの活用
- パートナー企業経営層との関係強化
- ... etc.



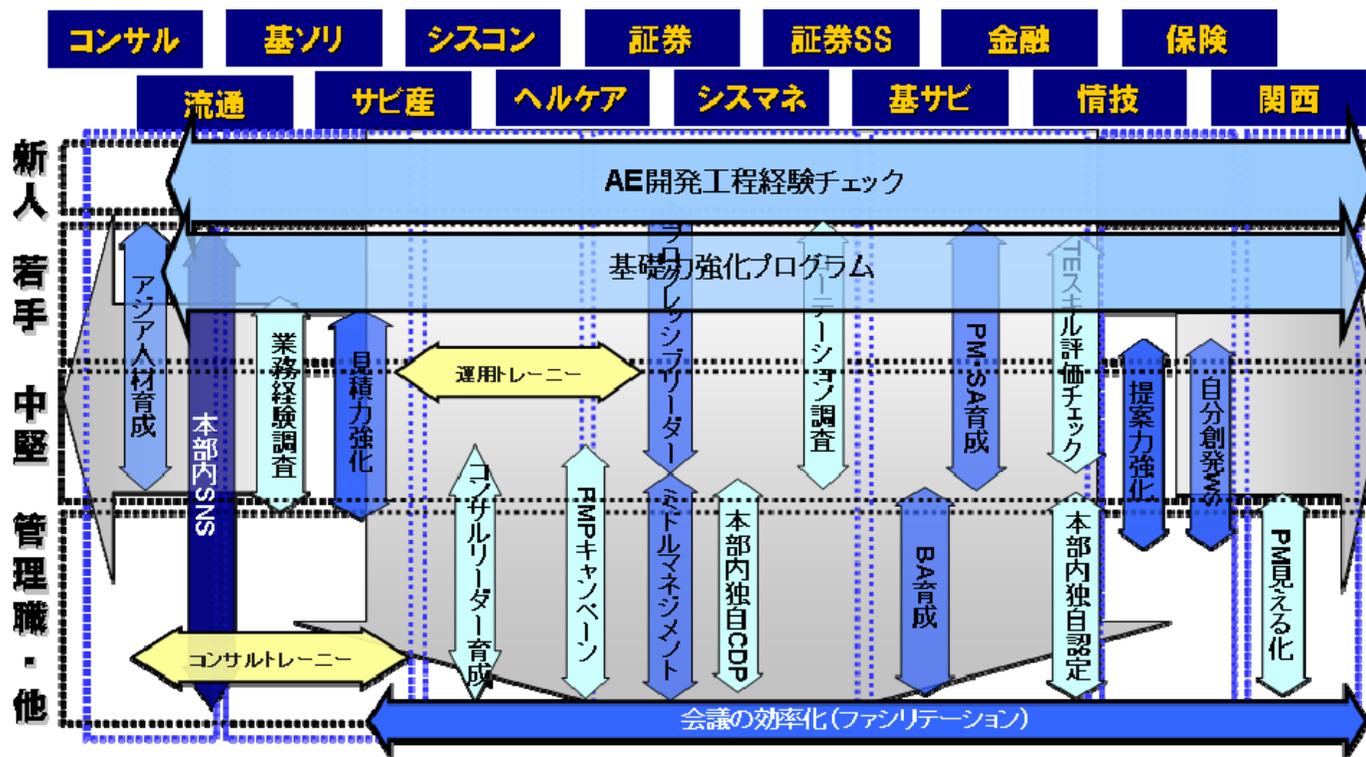
約7,000名

(3)-1 人材(確保と育成)

➤ 人材育成委員会を設置、人材育成プログラムを拡充

- 各事業本部のノウハウ・ナレッジを共有し、人材育成を加速させる
⇒ 共通施策を立案・実施し、各事業本部のベストプラクティスを共有

NRIの人材育成プログラム



2007年9月6日 日経産業新聞

(3)-1 人材(確保と育成)

➤ 中国オフショア開発のステップアップ – 次のステージへ!



- ① 証券系システム中心
- ② 新規・大型案件
- ③ 中国現地での開発

①' (証券以外の)金融系システムでの活用本格化

- 共同利用型システムを中心に、活用が広がる

②' エンハンスメント(保守)案件の委託拡大

- 活用範囲を広げることで、さらなる委託増加を目指す

③' 中国人SEの『東京オンサイトサポート』拡大

- 人材育成(上流工程対応力、PM力向上)に寄与
- Face to Face のコミュニケーション機会増による、生産性向上

-
- ・本資料は、2008年3月期中間決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。